

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
AQUA

専用シートカバー取付説明書

1065/1066

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

…> 05-28

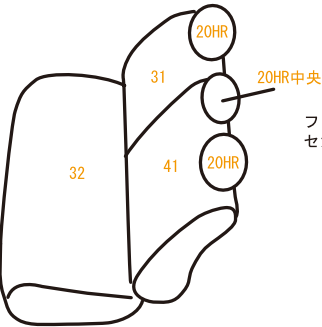
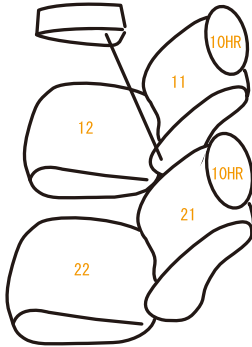
シートカバーの装着方法

…> 29-30

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

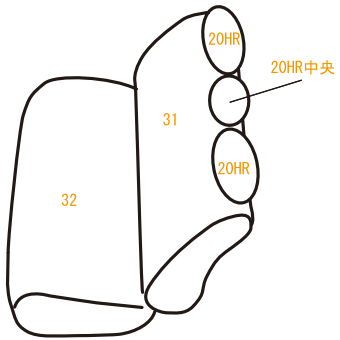
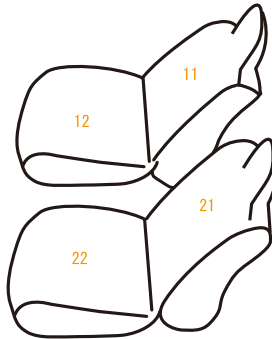
本製品シート形状とパーツの名称

1列目アームレスト装備車用
10AR右席内側



フロントヘッドレスト分離式
セカンドシート4：6分割

フロントヘッドレスト一体式
セカンドシート一体式



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット (14mm) ※ 1列目アームレスト装備車のみ
- ② 内張り剥がし ※クリップリムーバーなどの代用品でも可能です
- ③ クラツィオ 専用 ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…➤ 1 列目座面の装着方法



- 1 始めにシート背面下からシート裏にゴムで固定されている図の生地を外します。



- 4 カバーの加工穴にシートベルトバックルを通します。



- 2 助手席のシート裏の図です。助手席はシート裏に別の生地が覆っているため、図の隙間からゴムを外して1番の生地を外します。



- 5 カバーをシート全体にかぶせた際に図のオレンジの点線部分にシートとカバーの隙間が出来ている場合は、カバーが前側にずれているので、矢印方向にカバーを引き、シートとカバーの位置を合わせます。



- 3 シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で行って下さい。入れ込んだ生地はシート背面から引き出しますが、シートヒーターもしくはサイドエアバッグ装備車は、6ページ7番・8番の内容を先に確認して下さい。



- 7 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図はシートヒーター装備車です。シートヒーターが装備されている車は、図の配線部分をかわして生地を引き出します。



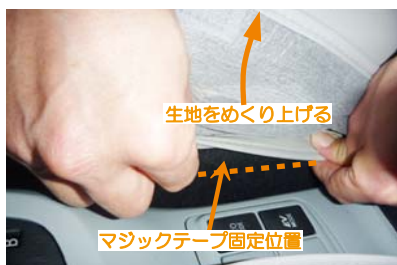
- 8 サイドエアバッグ装備車は黄色い配線を固定している、オレンジの点線で囲んだマジックテープの固定を外して、矢印の方向へ配線を寄せます。配線部分をかわして生地を引き出します。



- 9 カバー外側面の生地をシートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。入れ込み辛い場合はヘラなどを使用して下さい。



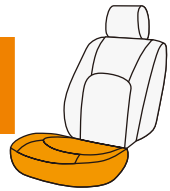
- 10 シートの付け根部分は隙間が大変狭くなっています。生地をシートとプラスチック部の真下に入れ込むのではなく、生地を外方向へ入れ込むときれいに収まります。



- 11 シートの内側面です。カバーの生地をめくり上げると生地裏にマジックテープが付いています。マジックテープをシートに直接貼り付けて固定します。



- 12 11番でめくり上げた生地を、図の隙間に入れ込みます。



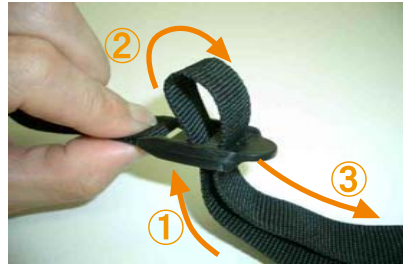
- 13 6ページ12番で入れ込んだ生地の端に、マジックテープが前後に2箇所付いています。マジックテープは直接シートに貼り付けて固定します。



- 14 カバー前側にベルトが2本付いています。ベルトはシート裏を通してシート背面に回します。



- 15 ベルトは6ページ7番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 16 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると切れたり、生地が破れたりします。作業は慎重に行ってください。



- 17 6ページ7番でシートヒーターの配線をかかわした生地の内側を、直接シートに貼り付けて固定します。
※シートヒーター未装備車もカバーは共通の造りにしているので、同様の作業を行います。



- 18 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 2

…> 1列目背もたれの装着方法

※アームレスト装備車は25ページ26ページのアームレストの装着方法を合わせてご確認ください。
※コンビニフック装備車は27ページ28ページにコンビニフックの加工方法の説明があります。コンビニフックを使用される場合は、そちらをご確認ください。



- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態で、シートのラインに合わせてかぶせます。
※この際、5ページの1番で外した生地はめくり上げて背面のカバーの中へ入れ込みます。※10ページ3番参照。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと潜り込ませます。



- 3 生地の利用を利用して台座を取り出します。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
シートヒーターもしくはサイドエアバック装備車は5番・6番の内容を先に確認して下さい。



- 5 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。図はシートヒーター装備車のカバーです。シートヒーター装備車は図の配線部分をかわして生地を引き出します。



- 6 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。サイドエアバック装備車は、配線部分を端へ寄せて生地を引き出して下さい。



7 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



10 シート側面の付け根部分に生地をしっかりと入れ込みます。



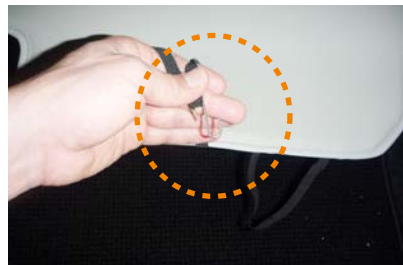
8 カバー側面のファスナー部分です。生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



11 8ページ5番で引き出した生地と、カバー背面のポケット下の裏生地部分を、マジックテープで固定します。



9 ファスナーを完全に閉じて、カバーからはみ出している部分を折り返します。折り返したファスナーをカバーの中へ入れ込みます。



12 カバー背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。

...> 1列目背もたれの装着方法 (シートバック一体式)



- 13 金属フックはシート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します



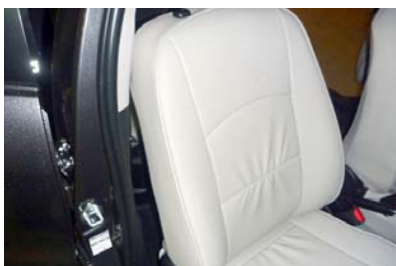
- 1 5ページ1番で外した生地は元通りには戻さずに、この状態でカバーの装着を行います。



- 14 カバー背面下部分は図のようになります。



- 2 カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。
※この状態でヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 3 1番の生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



- 4 シートのラインからずれないように左右均等に引き下げて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 カバー側面の生地を、図の①~③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



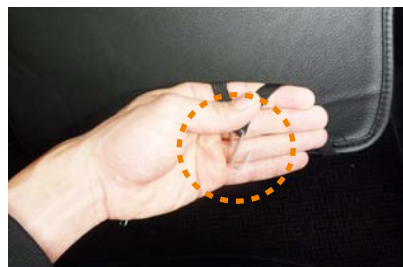
- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 6番で引き出した生地と、カバー背面のポケット下部分を、マジックテープで固定します。



- 6 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 9 カバー背面下に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の の装着方法



2列目座面は車体からシートを外してカバーの装着を行います



- 10 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



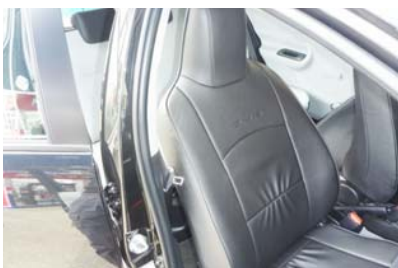
- 1 最初にシートの下周りを覆っているプラスチックカバーを外します。プラスチックカバーを固定しているピンの中心の丸い部分を、ペンの先などで押し下します。中心の丸い部分が凹むまで押し下さず。力を入れすぎるとピンが破損する恐れがあるので、作業は慎重に行ってください。



- 11 カバー背面下部分は図のようになります。



- 2 中心部分を押し込み、プラスチックカバーの図の点線部分を少し手前に引くとピンが外れます。ピンは**プッシュリベット**と言います。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 3 全てのプッシュリベットを外します。プラスチックカバー裏側の、図の丸印部分にフックがあります。フックは金属バーに引っ掛かっているので少し持ち上げるようにして手前に引くと、プラスチックカバーが外れます。



- 4 プラスチックカバーを外すとシートの両側面の生地が図のように固定されています。これは図の生地裏で5番の図にあるリベットピンで固定されています。リベットピンは内張りはがしや、クリップリムーバーなどの工具を使い外します。



- 5 リベットピンを外すと生地の固定も外れます。外したリベットピンの断面図になります。



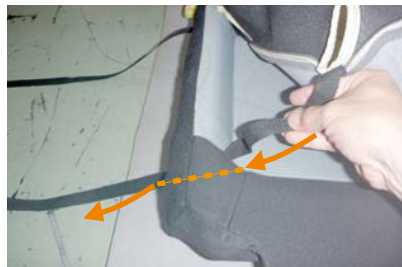
- 6 シートのクッションは図の矢印位置の裏側に2か所フックで固定されています。シートの裏に指を入れてフックの付近を持ち上げると、フックが抜けて外れます。作業は片側ずつ行って下さい。



- 7 シートベルト収納部からさらにシートベルトバックルを中へ入れ込み、シートから抜き出します。



- 8 シートの固定が完全に外れた状態です。シートを車外の作業ができるスペースに運び出します。シートを運び出す際は、十分に注意して作業を行って下さい。



- 9 カバーの裏側に付いている4本のベルトをシートのチャイルドシートを固定するアンカー用に通している穴に通します。通したベルトをぎりぎりまで引いてカバーの位置を調整します。



- 10 カバーをシート全体にかぶせます。この際特に着座位置の中央になる箇所の点線部分のラインがずれないようにしっかりと押さえながら、カバーをかぶせていくようにして下さい。



- 13 シートの側面部分です。こちらも10番と同様に、ラインがずれないように注意しながらカバーをシート全体にかぶせます。



- 11 シート付け根の裏側に10番でかぶせてきた生地を、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。



- 14 シート全体にカバーをかぶせたら、シートを裏返して前後のベルトを4本固定します。



- 12 シートの前側にも、シート側面のような生地が付いている場合は、こちらは固定されていないのでそのままくり上げてカバーの中へ入れ込みます。
※こちらの生地が付いていないものは上記の作業は必要ありません。



- 15 ベルトはあまり強く締めすぎないようにご注意ください。シートを車体に戻す際にベルトが張りすぎていると戻り辛くなります。図のシート前側のくぼみ部分をベルトごと指で押さえてもあまり反発しない程度に固定するようにして下さい。



- 16 カバーの両端から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



- 19 ヒモを絞り込んでいる際に、シート側面の13ページ4番のリベットピンが留まっていた生地が、巻き込まれて内側へ倒れたりしないようにして下さい。
※この説明から使用しているカバーが変わっています。ご了承下さい。



- 17 もう片側のひもを作った輪に通します。通したヒモを引くとシートの下周りが絞り込まれていきます。



- 20 シートを車体に戻します。
※13ページ8番のような状態からのシートを元に戻す作業になります。
シートの裏から13ページ7番で抜き出したシートベルトバックルを、図のように通します。



- 18 ある程度絞り込んだら、緩まないようにヒモを結び留めます。



- 21 シートを車体に固定してシートベルトバックルをしっかりと引き出します。
シートは13ページ6番で外したフックをしっかりと位置を合わせて上から押し込み固定して下さい。



- 22 シートベルトバックル収納部に生地を入れ込みます。生地の手端にはマジックテープが付いています。マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 25 プラスチックカバーを戻す前のシートの画像です。この時点でシートのラインなどがずれていないか確認して下さい。



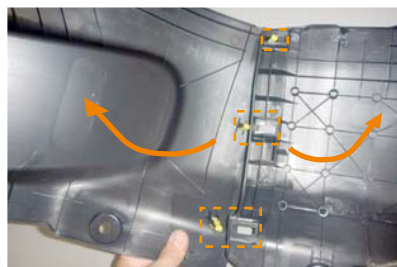
- 23 13ページ4番で外した生地を元通りに固定します。



- 26 12ページ3番で外したプラスチックカバーです。こちらは3パーツを連結してきています。



- 24 シートベルト収納部は図のように収まります。



- 27 シートに戻す前にプラスチックカバーを3パーツにばらします。こちらはつなぎ目で3か所クリップ留めされているので、つなぎ目部分を山折りに倒そうとするとクリップが外れていきます。作業は慎重に行ってください。

16P ▶

※作業を行いやすくするためにばらすことを推奨しますが、そのままでも元に戻せます。



28 プラスチックカバーが3パーツに分かれました。



31 プッシュリベットを元通りに固定します。プッシュリベットは外すときは中心を押し込み外しましたが、戻す際は中心がピンから飛び出した状態にします。



29 3パーツに分かれた中央のパーツから元に戻します。12ページ3番で固定されていたフックを、金属バーに引っ掛けます。



32 プラスチックカバーをシート側にしっかりと押さえて、穴位置を合わせてプッシュリベットの先端を入れ込みます。先端が引っ掛かった場合は無理に押し込まないようにご注意ください。



30 フックを引っ掛けたら、プッシュリベットの固定する穴位置が合っているか確認します。



33 先端がしっかりと入ったら、中央のピンを押し込みます。これでプッシュリベットは固定されます。



外向きに開いている

- 34 33番の作業でプッシュリベットの先端が引っ掛かり、何度試しても入らない場合は先端部分が図のように開いてしまっている可能性があります。そのような時はセロハンテープを用意して下さい。



開いた先端が閉じるように巻き付ける

- 35 セロハンテープをプッシュリベットの先端に巻き付け、開いていた先端部分を図のようにテープで押さえて閉じます。こうすることにより、先端も細くなって入りやすくなり、固定する機能も損なわず使用できます。



クリップを差し込む

- 36 両サイドのプラスチックカバーも元に戻して、中央のプラスチックカバーと連結させます。



- 37 サイドのプラスチックカバーには側面側にツメが赤矢印の位置に3か所あります。車体側のオレンジ矢印の位置に受けが同じく3か所あります。ツメと受けの位置を合わせて元に戻してします。プッシュリベットでこちらも固定します。



- 38 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です

Step 4



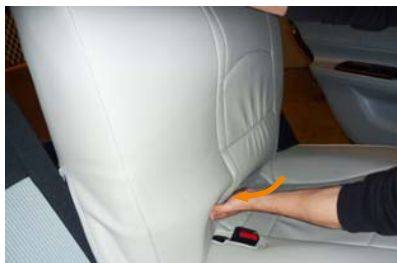
2列目背もたれの装着方法 4：6分割シート

2列目背もたれ一体式は21ページからご覧下さい。

※コンビニフック装備車は27ページ28ページにコンビニフックの加工方法の説明があります。コンビニフックを使用される場合は、そちらをご確認下さい。



- 1 助手席側で説明を行います。
内側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



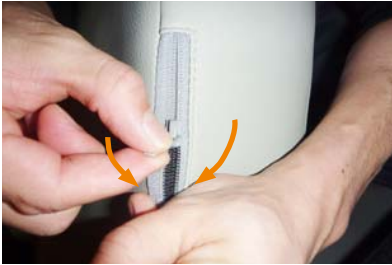
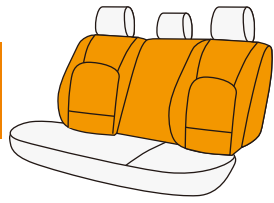
- 5 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 3 ヘッドレストの台座、ロック解除のレバーを加工穴から取り出します。



- 6 シート付け根の角の部分は、包み込むようにカバーをかぶせます。



7 カバー内側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



10 シートをロックする為に開いている穴の周りに、マジックテープを直接貼り付けて固定します。ロック部分に生地が掛からないように固定して下さい。



8 19ページ5番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



11 チャイルドシート固定用バーのあるプラスチックカバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



9 カバー背面下は図のようになります。



12 カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法 一体式シート



- 1 側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分程裏返して、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



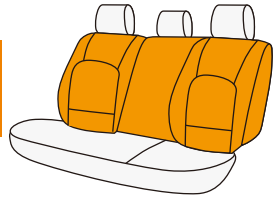
- 5 入れ込んだ生地を背面から引き出します。



- 3 ヘッドレストの台座、ロック解除のレバーを加工穴から取り出します。



- 6 シート付け根の角の部分は、包み込むようにカバーをかぶせます。



7 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



10 カバー背面の切り込み部分と、チャイルドシート固定用バーの位置を合わせます。



8 21ページ5番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



11 カバーのラインを整えて、2列目背もたれの完成です。



9 シートをロックするために開いている穴の周りに、マジックテープを直接貼り付けて固定します。ロック部分に生地が掛からないように固定して下さい。

Step5

…> ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーを半分ほど裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 4 プラフックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むように入れ込み固定します。



- 2 カバーを左右均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 プラフックを固定するとヘッドレスト裏は図のようになります。



- 3 ヘッドレストをシートから外して、ヘッドレストの裏でプラフックを固定します。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



7 2列目ヘッドレストです。ヘッドレストの先端から矢印の方向へ、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



10 マジックテープを固定したら、1列目同様に、ヘッドレスト裏でブラックを固定します。両サイドのヘッドレスト裏は図のようになります。



8 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。カバーのラインを整えます。



11 2列目中央のヘッドレストも形状は異なりますが、同様に取り付けます。ヘッドレスト裏は図のようになります。



9 ヘッドレスをシートから外して、両端の生地を内へ寄せながら、マジックテープを固定します。



12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step6

…> アームレストの装着方法

※運転席アームレスト装備車のみご覧下さい。



- 1 アームレストをシートから外します。まずヘラなどを使用して、図のキャップを外します。



- 4 背もたれカバーを装着した後、アームレストをシートに戻せるように、カバーに穴開け加工を行います。まず、指で生地を押さえて、3番で外したボルトの軸と穴位置を確認します。



- 2 ソケットレンチなどを使用して、ボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



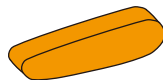
- 5 生地の上から軸と穴の位置に、図の用に印を付けます。



- 3 ボルトを外すとアームレストがシートから外れます。



- 6 ハサミやカッターを使用して、印を付けた位置の生地を切り取ります。この際、シート自体に傷を付けないように作業は慎重に行ってください。



- 7 軸と穴位置を中心に、シート表皮と同様にカバーに穴を開けます。



- 8 アームレストをシートに戻します。



- 9 アームレストにカバーをかぶせます。図のようにアームレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 10 アームレストの軸の付け根までカバーをかぶせて、軸の内側に生地を引っ掛けようにかぶせます。
※カバーがきつくて、アームレスト全体にカバーをかぶせられない場合は、一度アームレストをシートから外して、その状態でアームレストにカバーをかぶせます。その状態でシートに戻すことはできませんが、カバーをアームレストに馴染ませておくことで、シートに取り付けた状態にしてからも、カバーの装着が行いやすくなります。



- 11 アームレストの角度を変えながら、軸周り全ての生地をしっかりと入れ込みます



- 12 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。

…→ コンビニ（買い物）フックの加工方法

コンビニフック装備車のみご確認下さい。
 コンビニフックを使用するにはシートカバーに穴開け加工が必要です。
 カバーの穴開け加工は**自己責任**でお願いします。



- 1 背もたれカバーを装着する前にコンビニフックを外します。
 図は外したコンビニフックを横から見た所です。
 コンビニフックは、上の大きなツメと下の小さなツメでシートに固定されています。



- 2 フックを半分倒すと、下側に1番の下のツメの表側が見えます。こちらにヘラなどを差し込み、シートからコンビニフックを外します。
 ※先端がある程度固いものではないとツメを起すことが出来ません。



- 3 2番の位置にヘラなどを差し込み、上に突き上げるようにしてツメを起します。その状態でコンビニフックの下側を手前に引くとコンビニフックがシートから外れます。
 図ではコンビニフック下側の隙間にヘラを差し込み、下のツメをマイナスドライバーで起こして外しています。図のようなやり方でも外せますが、シートやコンビニフックに傷を付けないように十分ご注意ください。



- 4 コンビニフックがシートから外れました。



- 5 背もたれカバーがしっかり固定されていることを確認します。
 ※穴開け加工をした後にカバーを大きくくずらしたりすることは出来ません。
 カバーの上からコンビニフックが付いていた位置を確認します。



- 6 コンビニフックが付いていた位置にそって図のように印を付けます。
 ※やり直しが出来ない作業のため、始めは少し小さめに印を付けるようにして下さい。



- 7 印を付けた部分の生地を、シートに傷を付けたりしないように慎重に切り取ります。切った生地は完全に取り除いて下さい。折りたたんだりすると、生地の厚みが増し、フックが元通りに固定できません。



- 8 コンビニフックを元に戻します。この際、1列目背もたれカバーの中にめくり上げた純正シートの生地が、コンビニフックの固定位置を覆ってしまっている場合があります。その場合は、めくり上げた生地を固定位置からずらすか、生地を折りたたんでかわすようにして下さい。まず大きなツメをしっかりと引っ掛けるように下から上へ押し上げます。



- 9 次に下側を押し込み固定します。しっかり固定出来ない場合は、穴の大きさが小さい可能性が考えられます。穴を慎重に少しずつ広げて再度確認して下さい。※ツメ部分が損傷している場合は、何度試しても固定できません。



- 10 1列目背もたれコンビニフックの加工完成図です。



- 11 2列目のコンビニフックも1列目と同様に加工します。2列目背もたれコンビニフックの加工完成図です。



補足です。

9番の作業でどうしてもコンビニフックが固定できない場合、シート側の留め具を少し手前側に起こすと、コンビニフックが固定されやすくなります。

これを行うには、マイナスドライバー、もしくはそれに近い代用品を用意します。図のように真横から用意した工具を差し込みてこの原理でコンビニフックの下のツメが引っ掛かる金属の留め具を手前に起こします。数値にして**1~2mm**程度です。これで再度コンビニフックを元に戻すようにお試し下さい。

28P▶

※こちらは無理に行くとシートのフレーム自体を変形させかねません。作業は慎重に、**自己責任**で行って下さい。

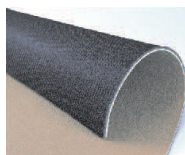


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCLレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などに付けてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができて変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL. 072-330-8000 FAX. 072-330-8816